

平成29年度 伊豆急ケーブルネットワーク

第8回番組審議会 議事録

日 時 平成29年10月3日(火) 15:30～17:30

場 所 株式会社伊豆急ケーブルネットワーク本社事務所 会議室

番組審議会委員

出席者 前田宗宏委員(会長)・市川幹夫委員(副会長)・稲葉裕子委員・磯川善幸委員
佐藤文彦委員・小山みどり委員

欠席者 山西和孝委員

番組審議会事務局

塚本昌哉・岩本 亙・平井秋洋・庭野順一・森田貴子・遠藤 昇

陪 席

奥村 力(代表取締役社長)
三井大峰(経営企画部長)

議 題

- (1) 前年度審議番組についての振り返り(反映報告)
- (2) 対象番組についての審議

(1) 前年度審議番組についての振り返り(反映報告)

対象番組 「完全アポなし 撮って出しTV！ 見聞^{みき}まま」(15分)

- ・ご意見 カット映像を多用し、見ていて飽きない工夫を。
- ・反映 お話しに出てきた場所や物などの映像を、番組内でなるべく挿入するよう
当日収録後、または後日撮影を実施しております。

- ・ご意見 名言、心に残った印象的なセリフを、最後にテロップで紹介しては？
- ・反映 番組内(冒頭、エンディング)にて毎回紹介させていただいております。

- ・ご意見 インタビュアーはかしまらず、されど馴れ馴れしくないような聞き方を。
- ・反映 当初に比べ、聞き手としてのコツを各自が修得してきており、自然な受け
答えが出来てきたと感じております。

- ・ご意見 歩いて撮影するシーンでカメラの映像がぶれ、気分が悪くなる。
- ・反映 歩きのシーンをなるべく番組内では使わないようにし、必要な場合は
カメラマンと一緒に動かさず、広めのサイズで待っているように心がけています。

(2) 対象番組についての審議

審議対象番組 「完全アポなし 撮って出しTV！ 見聞^{みき}まま」(15分)

- ・対象番組の上映
- ・審議(ご意見・質疑応答)

磯川委員:昨年テロップのことについて指摘したが、今年はテロップがとても分かりやすく良かった。

全部 DVD を見たが、全体的な印象として、聞き手に趣味の話を聞くとどんどん広がっているように見えた。

最初に緊張しているように見えた方も、話をしていくうちになごやかになっていったのが良かった。

岩本:話を聞くときのコツとして「趣味」を聞くと、受け答えがあまりよくなかった方も突然スイッチが入り、こちらが聞かなくてもどんどん話をしてくれるようになることが多い。

前田会長:最初の土屋さんの回を見たとき、正直見ていると辛いかな?と思ったが段々会話が乗ってくると、とても面白かった。

聞き手にいきなり名前を聞くと、なんとなく抵抗感があるのかな?と個人的には思う。

最初に名前を聞くと敷居が高い、というか危うさのようなものが視聴者に伝わっているのか?など。

また、気になったのは、コインランドリーに故障中の張り紙があったので御礼として出演者にDVDなどを渡しているのであれば、そういうところも配慮して撮影したほうが良い。

学校の先生の回はふたりの背景に大室山があり、二人が並んでいる背中映像があったが、とてもよかった。時折、風景と一体化させるなどして場面転換してもいいのでは。

稲葉委員:味があってとても面白い番組だと思う。もう少し番組の宣伝をして多くの人に知ってもらえば、ファンが増える番組になると思う。

小山委員:お店が出た場合は、店名などは出さないのか。宣伝などになってしまう関係で出せないのかもしれないが、もし見ていると、その店に行きたいな、と思った時にどうしたらいいかな?と思う。

岩本:テロップは番組の趣旨が変わってしまう為入れないが、店の看板など目で分かるものは、意識的に入れたりなどして対応しています。

磯川委員:出演される元気な高齢者がいい。言葉も自分の格言のようなものを話してくれるし、言うことも面白い。年齢が上の人ほど話が面白いと思う。

市川副会長:お名前を先に聞くことについて、番組の冒頭でやり取りをしている時にお話を伺ってもいいですか?というやり取りがあるので、名前をあのタイミングで聞くのはOKだと思う。

昨年審議するためにDVDをもらった時は、はっきり言って見るのが辛かったが、今回はとても楽しかった。

制作する皆さんのご苦労もかなりあって、レベルが上がってきたのがわかりました。

インタビューを受けている人も、とても楽しそうに見えたので、見ている方も共感や発見があった。

気になるのはマイクの音量。1つのマイクを聞き手と出演者でやりとりして

いるので、音声聞きづらい所がある。
スタッフはピンマイクにするなどして対応してもらえれば。

平井:毎回、音声の修正、調整はしていますが、今後考えます。

佐藤委員:プロの仕事だなあと考えた。いろんな出演者がいて次々質問できるところとスムーズに話が出来ているところ。去年はどうだったかな?と。
また、伊豆新聞に出演者の名前とロゴを出すのはとてもいいと思う。
委員になってからわりと、チェックするようになった。1回でもこの番組を見てくれれば、ファンになる人が増えると思う。
気になったのは「ディする」という言葉。これから認知されていく言葉かもしれないが、積極的に制作側が使うのはどうだろうか。

その他

- (1) 「いい伊豆みつけた」が番組放送開始から30周年を迎えました
- (2) 伊豆半島インバウンド用多言語動画の上映
～美しい伊豆創造センター様委託業務 成果物上映～
- (3) 弊社事業トピックス(新サービスのご紹介など)

以上の内容が岩本、塚本、庭野により報告、説明された。

以上